



るとその迫力に圧倒されます。般若心経の全文を四十五個の印に刻んだもの。よくみると一つ一つ印の装丁が違い、印泥も違うのがおわかりでしょう。授賞おめでとうございます。

奨励賞に輝いた三原猛さんは、今回大作を出品されました。構想三年の力作です。

写真は小さくてもわかりにくいですが、会場が、会場で拝見す



第三十二回聚英展

於 京都文化博物館

九月二十五日～二十九日 当会の審査員で構成される聚英展が開かれました。金文、木簡、篆刻から行書草書、仮名や、現代詩文など、個性あふれる作品が四十九点並び、見ごたえのあるものとなりました。小品とはいえ、出品者の力量と感性をみがく良い機会となつて、会を重ねるごとに高品質になつてゆく聚英展にしたいものです。

先人追悼法要・筆供養

於 東福寺塔頭正覚庵

十一月二十三日はあいにくの雨模様の日。例年と違い、早い秋の到来で、東福寺の紅葉もちらほら散りはじめ、少々寒い一日となりました。午前十一時より、当会の多くの先達を供養する法要が例年とおりに行われ、午後は古くなった筆に感謝する筆供養が行われました。多くの参拝客が訪れ、使い切った筆を焚きあげ、その煙を浴びて書道の上達を願いました。

訃報

当会理事 武田捷石先生は、十二月に急逝されました。長い間本会を支えてこられた先生を失うことは痛恨の極みであります。ここに謹んで追悼の意を表します。

今年度の行事予定

総会 一月二十七日 京都駅前 京都タワーホテルにて開催します。総会の後の記念講演では、当会顧問 興膳宏先生による記念講演があります。中国文学の著書も多い先生の『千支について』のお話、是非ご参加ください。

練成会情報

前回の練成会は大変好評でした。今年も続いて開催を予定しています。春の季節に開催予定ですが詳細は未定です。多くの皆様の参加を願っています。

第九十三回 平安書道会公募展

平成二十五年八月一日 四日、京都市美術館にて開催される予定です。

平安書道会ほーむページ

最新情報はここからどうぞ

